列車發着

大房身發　金州着發　三十里堡着發　普蘭店着發　後 [illegible]

熊岳城發　蓋平着發　大石橋着發　海城着發　前 [illegible]

鞍山站發　奉天着發　虎石臺着發　新臺子着發 [illegible]

開原發　鐵嶺着發　新臺子着發　後前 [illegible]

遼陽發　鞍山站着發　海城着發 [illegible]

萬家嶺發　得利寺着發　瓦房店着發　普蘭店着發 [illegible]

大連着發　大連旅順間　下り　上り [illegible]

旅順發前　長嶺子着發　營城子發　上り [illegible]

營口着發　大石橋營口發前　營口支線　上り　下り　蘇家屯發 [illegible]

注意　一、乘車驛南關嶺南關嶺昌圖間各驛より旅順線各驛行のもの及同樣各驛より南關嶺昌圖間各驛行の者

一、乘券旅人の際は混雑を防ぐ爲め金は過不足はき樣注意すへし

一、料金は軍隊手票を標準とし計算徵收す

滿洲日報

本紙代價	
一枚	四錢
一ヶ月前金	八十錢
半ヶ年全	四圓八十錢
一ヶ年全	九圓六十錢
郵税無料	

廣告料	
五號活字十九字詰	一行二十錢
四號活字十四字詰	一行三十錢
二號活字九字詰	一行四十錢

本欄報價目	
一張一月	四分
半年	八角
全年	四元八角
	九元六角

告白例　一行五號十九字　毎日者毎行一角二分登十日者　毎日毎行一角五分登一月者　毎日毎行一角登長年者　價目面議

清國營口中盛街(電話二九番)　滿洲日報社

特別廣告

資本金貳千四百萬圓

積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所

橫濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　漢口　天津
北京　大連　旅順　奉天　遼陽
芝罘　鐵嶺　安東縣

橫濱正金銀行 牛莊支店

(電話十番支配人室)(百八番事務室)

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

●山東丸　二十三日　太沽芝罘門司神戸行

大連出帆

●橫濱丸　廿三日午后二時　門司神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行　(電話二六番)

大阪商船株式會社 營口汽船出帆廣告

●盛航丸　八月十七日　門司行

代理店　ブラシユ兄弟商會　遠來洋行　營口公園地横　電話二十三番

瀛船出帆廣告

●中國丸　十七日門司神戸行

松茂洋行船舶部　海岸東稅關西　電話(五二)(五七)

新着荷　松角材　松茂洋行商品部　(電話五二番)

營業項目

一 定期預金(長期存款)　三ヶ月 五分　六ヶ月 按年五分五厘　一ヶ年 六分

一 當座預金(暫存款)　按年 四分五厘　日步 一錢二厘三毛

一 小口當座預金(零碎暫存款)　按年五分一厘　日步一錢四厘

一 送金爲換取組先(滙兌)　東京、橫濱、大阪、神戸、長崎、上海、天津の橫濱正金銀行本支店

一 貸附金(放利)　一般財産並に土地建物の管理を引受くること　不動産抵當貸附金の委託を引受くること

一 附帶ノ業務

軍政署認可

正隆銀行

本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候

營口西北街第二百三十號(日本人會西隣)　支配人 深水十八　(電話二百十番)

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布商花標布東洋綾子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周群俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至　總司理人 田中賴之助謹白

開設老爺閣街同盛德院內　電話(店一八三番)(住所五五番)

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有　總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事 潘玉田　副理事 金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等此佈　營口西大廟街路北警乙第十三號

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子法蘭絨等貨來埠發售顔色鮮明俱照中國土布家綿自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

營口西北街 西義順棧內　東櫃(電話九十五番)　西櫃(電話九十八番)

日本官造紙煙專售告白

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙　朝日(紅旭牌)大和(雲花牌)敷島(蓬島牌)娼嫣(軍旗牌)隆佔來福(雙仙鶴牌)利利(百合花牌)捷利(櫻花牌)斯達(星象牌)哥耳天巴德(蝙蝠牌)等九種及煙絲各樣

東營口西北街(舊代代木公司)　日本官煙營口專賣處

SP 糸平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品皆美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布疋羅列下　東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種絨布其他一切織物概行發賣並特約販賣(正日光皮酒)價及各樣雜貨尤廉減特此廣告

朝日ビール特約大販賣　營口元神廟街(神廟南邊路)西　(電話百九十二號)

志岐組

本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸　本主人謹白

三井

電話 第六十六号 第九十一号

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部

○發售新到洋白糖

今回倉庫所在地(害堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候　(電話百二十八号)

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售 日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨所集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹朱斐章郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即彼貲東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己請公賜顧請　駕臨大德亨內面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行　電話 第六十六号 第九十一号

●印判彫刻　●ゴム印　●活版名刺　●各色印肉インキ　附屬品一式

各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名到着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候　御報知次第店員參上仕候

刻字舖　營口永世街三十七号　尾崎洋行

奉天小西關大街二七八号南側　尾崎洋行分店

賃銀

自 \ 至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸滊船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす

本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依頼に應す御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候

本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

回數切符は特に割引可致候

列車連絡時間表(日本時間)

東稅關午前五時發　牛家屯六時三十五分發列車に連絡

仝午前六時發　河北七時發列車に連絡す

東稅關午後七時四十分發　牛家屯發九時三十五分の列車に連絡

牛家屯午前九時四十分發　牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ

牛家屯午後八時發　營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る

河北午後六時發　河北五時四十分の旅客を迎ふ

東省巡航公司　營口元神廟街第五十五號　電話番號二百三十六番

洋鐵鋼　麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類　其他諸機械ノ製作修繕

安東縣市場通七丁目　合資會社 秋田商會支店

安東縣東大街　合資會社 秋田商會支店

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候　元神廟街二四九　(電話三番)

精乳軒牛乳販賣所

遼河鐵道 裕和盛運輸局

(電話八十一号)　在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本号向在日本長崎城設數十年開店仁川木浦旅順大連營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道轉運貨物代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理人 周鶴雲　運輸部主任 高濱麟太郎 啓

徽州 怡昌祥茶號

本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙種名茶色香味與衆不同加工揀焙重胃徽郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤

怡昌祥主人謹白　寓營口恆利德

志岐組 木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議顧請到本棧

上海 中井洋行　專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗等件草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售請至江西路五十一號門牌可也　中井洋行

丸重轉運行

啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站均設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷

營口西北街(電話十八號)　既設分局 牛家屯車站(電話四十六番)　遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至 營口永世街 第五號門牌便是

銃砲火藥販賣業

本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也

官許商 秀淸洋行　鐵嶺東門大街

歯科治療廣告

啓者本醫士現將已前治療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也

遼陽西街六十九號　歯科醫士 德平盛剛

遼陽州官設醫院告條

一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取銀隨意

一若有願擇免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止

一特邀醫官於其家者另繳規費一元以上但在下午三點鐘以後

一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費

一每逢慶節及禮拜日一概休辦

牙大夫學士兒島醫院

DENTIST. Dr. S. KOJIMA.

大日本齒科醫會部長　日本齒科學會評議員　●營口元神廟街●

告白

啓者本院主從來於森醫院齒牙科治療從事近時感其狹隘因別卜居開院新式諸器械完備無遺專足於救治牙疼之術齲齒金銀充填補缺落齒補入妙技矣齒牙疾患者希咀嚼必要欲皓齒金光燦爛美良者速來方知本院主神秘妙技焉執事

●語曰齒全壽長●來訪者注意兒島二字要

東京電報

●定欵草案の可決(十五日發) 南滿鐵道定欵調査委員は既報の外に曾我祐準益田孝莊田平五郎園田孝吉安田善次郎添田壽一近藤廉平高橋是清土井通夫の九名を加へ澁澤氏特別委員長として十三、四兩日 政府提出の定欵草案(南滿鐵道命令書及び六月公布の勅令一四二號を土臺とせるもの)を議し多少の議論ありし上三四ケ條の修正ありて之を十四日の委員總會にて可決承認せり

●工事概算書内容(同上) 同時に原案通りに承認されし工事概算書の内容は

一金壹億圓 工事總額

内譯
一金二千八百一萬圓 大連長春間線路及支線改築改良及車輛新調費
一金五百萬圓 大連港灣修築費
一金九百六十萬圓 大連蘇家屯間複線敷設費
一金四百萬圓 撫順及烟臺炭礦資金
一金八百萬圓 土地及倉庫經營費
一金二百萬圓 鐵道貨物委托販賣業資金
一金百萬圓 水運業資金
一金二百二十萬圓 安東縣奉天間線路改築費
一金千百四十萬圓 豫備費

●政府出資の内譯(同上) 南滿鐵道政府持株一億圓の内鐵道及び烟臺炭坑三千二百萬圓大連停車場其他附屬物千五百七十萬圓

●設立認可の申請(同上) 寺内委員長は十五日朝會社設立認可の申請を爲せり

雜報

●北滿開放問題 我國の南滿洲開放主義を取るに反し露國は依然北滿洲を閉鎖し居れるは不權衡の甚しき者なれは遠からす何等かの方法を取るに至るべしとは既報の如くなるか聞く所に據れは此程右に關し露政府に交渉する所ありしも露國側に於ては未た是に應せざる由而かも我に於ては愈々九月一日より大連を開放するに至らは各國の商船は自由に入港するを得べきも福島オラノフスキー條約の結果獨り露國船舶のみは大連に出入する能はざる事となるを以て吾の交渉に應せさるよりも生ずる不利益は寧ろ露國側に多かるべしと

●西比利亞鐵道複線工事 露國にては日露戰爭に鑑み西伯利鐵道單線の不便なるを感して目下頻りに複線工事に意を注ぎ同調査委員會は今般エカテリンブルグよりクルガンに至る線路を敷設するか又はチユーメンよりオムスクに至る線路を敷設するかの問題に就て審議中なりとのことなるが同委員會の調査する所に依るにチユーメンよりオムスクに至る線路は二十露里短かく敷設費二千三百五十万留を要しエカテリンブルグよりクルガンに通する線路は敷設費三千五百万留を要する由にて前者の線路はトボリスク縣の穀物の產出地を經過する故鐵道敷設せらるゝに於ては三千万プードの貨物を同鐵道に供給するを得て二十二回まで列車を運轉するを得べきも後者の線路は重に烏拉爾の鑛山地を經過する故一日十九回以上の運轉を爲す能はさるへしと云へは多分チユーメンよりオムスクに通する線路を敷設するに至るへしと云ふ

●南滿鐵道の水運業 南滿鐵道にては東淸鐵道の計畫を繼きて海運等をも經營する筈にて這は固より滿洲產物を本邦若くは南淸地方等に輸送する上に於て鐵道と相待つて必要缺くへからさる事業なるが其方法として該航海業は會社自身に之を爲すべき乎將た他の汽船會社と特約を結び之か輸送に當らしむべき乎の二途ありて其利害に就ては固より滿鐵設立委員會に於て篤と研究せらるへきも若し會社自身に之を爲すとせは是れが爲め約一千万圓の資金を豫備し置かさるへからざるのみならず汽船の購入其他の設備に於ても種々の事情と多數の日子とを要すへければ差當り有力なる現在の汽船會社と特約して之に當らしむることゝなるへしと某技師は語れり

●行賞公債の利益 昨紙所載の如く今回發行せられたる論功行賞の公債は保管通帳を交付せらるゝにより第一火難盜難等の恐れなく第二には公債の利息を受取る上に便ナ郵便貯金としての利子をも受取るを得第三には是等の利息を受領するに際して何等の手數を要することなくして只任意の時に最寄りの郵便局に通帳をさへ提出すれは元帳によりて其利子を記入せらるへく第四には若し公債を賣却して現金に代へんことを欲せば其申出てにより郵便局にては之を相當の時價に賣却し以て其求めに應する筈なる故に山間僻地にある者又は公債賣買等に不慣れなる者に對し非常の便利なるへし其他今回の公債か國庫債券、臨時事件公債等に與へられたる特典を有すること勿論なりと云ふ

●外務省の豫算 外務省明年度の豫算概算書は既に調製濟となり大臣の見閲濟次第大藏省に廻附せらるべき迄に運び居れる趣なるが在外公館の新設、外交官の增員等戰後の發展に伴ふへき必要の經費多々なるを以て本年度豫算に比し多くの增額を來せりと云ふ

●大連稅關の設置期 大連に於ける淸國稅關の設置に就ては主義上我政府に於て異議なき所なれは露淸國境にも同時の設備を爲すへきを條件として許可を與ふることゝなりたる趣は已に我東電の報する如くなるが露淸國境に稅關を設くるは淸國に取りて非常なる難事にして殆と不可能ともいふべき程のものなりと傳ふるものあり果して然らば九月一日を以て大連の開放を見るも當分の内は我租借地は勿論南滿洲貿易は自由區域として繼續せらるへき情勢なりと云ふ

●軍用手票の流通高 滿洲に於ける軍用手票は其後漸次回收せられ最近に於ては其流通額千三四百万圓内外に下り從て其價格も次第に騰貴し昨今に於ては却て一圓四五錢の價格を維持し居れりと

●露艦建造竣工期 露國海軍省の發表したる所に依るに露國建造中艦の竣工期は左の如しと

艦名	種類	竣工時期
リユーリツク	巡洋艦	一九〇七年九月
アドミラル、マカロフ	同	同 十二月
パルラダ	同	一九〇八年七月
バーヤン	同	同 同
ギリヤク	同	同 同
オチヤコウ	同	同 同
アグール	同	本年夏期
アンドレイ、ペルウフワニイ	戰闘艦	同 同
パウエル一世	同	同 同
ベーヲル、ウエリキ	同	一九〇七年夏期
ヨアン、スラウスト	同	同 同
イエウスタヂイ	同	同 同

水雷艇三十五隻、砲艦四隻、水雷母艦二隻は一九〇七年十二月極東より歸露せる軍艦中三隻の外は何れも改造せらるゝ筈なりと

●東阿の支那勞働者 東部亞弗利加に於ける獨乙ツヂルエスザレムの殖民地に於ては從來地方の土人を使用して業務に從事し來りたるも種々の弊害ある爲め從前の例に鑑み今回支那勞働者五百人を限り二ケ年間の契約を以て雇入れ度き旨淸國に申込み仝勞働者は不日汕頭を出發するならんと云ふ

●加奈陀と日本殖民地 倫敦通信に依れば日本は今度英領加奈陀アルベルタ州に於て十万エイカーの地所を限り殖民地として經營する事になれりと吾人は此の報の信ならんとを祈る

●撫順炭礦と外紙 チヤイナ、タイムス紙は報じて曰く撫順炭礦は大炭礦にして一日平均二百五十噸を出せり必要に依れば充分の裝置をなして二十四時間に六千噸迄採掘し得べし乍併目下の礦夫は皆支那人にして坑底より嚢を以て運ぶが故に塊炭は之れが爲め碎かるゝ事多しと

●淸國の商品陳列館 淸國山東省道臺に於ては今回官營商品陳列館設立の計畫あり濟南府知府の弟朱曜氏は調査を命せられ去る六日農商務省を訪ひ種々調査する所ありしが遲くも本年度中には其設立を見るに至るへく經費は每年三万圓設立費は約一百万圓の見込にて之を淸國官營商品陳列館の嚆矢となすといふ

●韓國橫斷鐵道 韓國京義線より元山に分岐す可き鐵道は京元線と平元線の競爭ありしか今回愈よ平元線を採用し平壤に於て十字形を爲し元山鎭南浦間に橫斷鐵道を敷設することに決定せりといふ

●臺灣の富籤發行期 臺灣島にて發行すべき彩票即ち富籤に就ては過般上京中なりし宮尾臺灣總督府專賣局長も此程歸任し著々として其準備整ひ既に諸種の機械類は獨逸國に注文をなしたれは遲くも十二月頃には第一回の發行を見るに至るへし

●鐵嶺商品陳列館狀況(鐵嶺商品陳列館報告概要)

昨七月三十一日の調査に係る鐵嶺商品陳列館の狀況左の如し

▲見本出品 七月十五日現在に於ける見本出品申込總數二万六千五點に對し本期に於て五百十五點を增加し七月三十一日現在二万六千五百二十點の總數を示せり

▲觀覽者 本期間に於て雨天并に陳列出品整理等の爲め四日間休業せしを以て實數十二日間に於ける觀覽者總數三千八百一名にして内日本人一千六百五十七名淸國人二千百四十四名内淸國婦人九十二名淸國學生五百五十六名一日平均總數三百十七名内日本人百三十八名淸國人百七十九名の數を示し之を前期に比すれは一日平均九十名の增數を示せり本期間日本人觀覽者中修學旅行の内地學生敎員等八百四十一名あるを以て之を控除して普通觀覽者のみを算すれは一日平均數二百四十七名を示し前期普通觀覽者一日平均數に比すれは二十名の增數を見る

觀覽者中殊に内地官民の一度來觀實況を視察せるものは何れも當館の設備其他に於て又鐵嶺の商業策源地たるへきを認めたる等に於て望を當館に囑せさるものなく見本出品并に委托販賣の申込を爲す等大に機運の好況に向へるを認む

前期に於て報告したる如く大阪府の如きは大に滿洲貿易業務の擴張を圖り現に當館出品者より成る團體を組織し大阪商業會議所内に常置委員を設け當館に對する事務を專任せしめつゝあり

▲附近市場の商況 本期間に於ける商況概して沈靜物資亦多からす是多くは淸曆六月一日に於ける大豆定期賣買の不結果と雨季に際せるとに原因せるか如し然れとも物價は前期に比し甚た大差なきを見る

▲試賣 前期に引續き支那人の購買者益々增加し日本商品に對する支那人の嗜好稍推測するに足る從來の經過に依り將來を卜するに豫定の計畫に依りて當館の業務擴張せは確に當館の維持費をして收支相償ふに足るへきを信せらる

●鮮知縣の徽行(遼陽) 前任遼陽知州鮮俊氏は曩に彰武縣知縣と交任し十數日前遼陽發赴任の途に就きし次第は當時の紙上に掲げたりしか此程鮮氏は現任地彰武縣より遼陽に微行し今回同地滯在中の由なるか或る一說によれは豫ねて前任遼陽知州たりし時知州官邸より火災起り終に燒失するに至り官金數万圓も共に燒失の難に罹りたる事ありしか淸國官規によれは是等火災損害は知州の責任問題に屬し其責を負ひ辨償せざるべからさる風習の存するより鮮氏は此用件を帶び微行し居れりと風說あり而して新任遼陽知州周氏は未た舊任地を去らされは事實に於て遼陽は知州空位の觀ありと此間多少の消息あるものゝ如く又新知州周氏は齡耳順を過ぎたる高齡にて從來外人に接したる事なき人物なりと云ふ

●駐屯軍の賜暇 滿洲鐵道守備の各隊に屬する將校下士官の戰時及び定例休暇は時局多端の爲め多少延引され居りし樣子なりしも先日來事務に差支へさる小數を限り休暇を賜りし樣子にて歸鄕の恩典に浴するもの尠からずと云ふ尤も或る隊に於ては下士官は單に管内に於てのみ賜暇されたる樣子なり

●鐵嶺の魚菜市場 同地居住民中の有力者か豫てより居住民全體の基本財產として團體事業と爲すに足るへき相當事業の許可を舊軍政署へ願ひ出て居りし所此程北村總務課長松林通譯官等の盡力により此程同署の保管に屬せし病馬廠一棟の貸下を乞ひ愈々市場の建築に取掛ることゝ爲れる由にて竣成の上は好個の財源たるへしといふ

●營口電燈會社の現況 久しく海仁洋行に看板を掲げありし當地電燈會社は回事務所を綏定門街に移し近江谷榮治島内善雄及び有力なる支那人數名諸氏にて經營せられ來る十二月頃迄には工事を完成するとか云へり

●支店長更迭披露會 今回當牛莊正金銀行支店長中村錠太郎氏歸朝を命せられ井上一男氏代りて當營口へ來任せる爲め一昨十五日午後六時頃より營口在住官民の重もなる人々を旭ホテルに請待して其更任披露を爲せり主人側挨拶に次ぐに瀨川領事の答辭あり舊支店長の功勞を頌して新支店長の來任を歡迎し杯酒の間十二分の歡を盡くし十時頃散會せりといふ

●速水副領事の奉天行 荻原總領事は不日或用件を帶び歸朝すべきを以て在遼陽なる速水副領事は打合の爲め去る十四日奉天に赴けりといふ

●小寺農場の現況 神戶の富豪小寺氏か去る五月より牛家屯停車場附近に於て廣大の土地を買入れ專ら開墾事業に從事しつゝあることは豫て聞き及べる所なるか目下其所有地所は四十町步の廣きに亘り重もに高粱と大豆とを試作し野菜は日本種と支那種とを併せて栽植中なるか高粱は播種の時期を失したる爲め不出來なりしも大豆は可なりの收獲を得へく今は又更らに牧草の試作準備中にて是れ又時期を後くれし爲め好成績は到底得る能はさるも唯た試驗的に耕作せるに過ぎざれは明年よりは十分の準備を以て各種穀菜の耕作に從事する筈なりといふ牧畜業は目下豚四十三頭あり内親豚十頭は日本内地より取寄せたるものにして其成績は未た知るを得すと雖も將來必す良果を收むへしと傳へらる尚聞く所に據れは小寺氏は農業の傍ら豆粕製造所も設置する筈にて既に器械一式を注文せりといふ

●遼陽片々錄 當地の或る酌婦先頃一私兒を擧げ名を滿洲太郎と付し其筋へ手續を了せり是そ即ち遼陽に於ける產兒の濫觴は名も滿洲太郎の名も面白し女子ならは滿洲子の名も妙ならん▲脚氣病は遼陽の大流れ患者の第一位は脚氣二は腸加答兒三は滿洲熱にして脚氣症の爲め殪れたるものさへあり或る刀圭家の曰く生水と氷ラムネは飲用するを避くへしと眞に然らん輓近其筋の戶口調査の嚴なるは最も其當を得たるもの然るに無籍者多く警官を煩す事頻なりと想ふに無賴の惡漢大連の喰詰もの漸次浸入の虞なしとせす從來無賴漢の片影を駐めさりし遼陽の前途に愴惻堪へたりとすべし▲西關一體の地雜草叢生人幹を沒するに至る或る淸人の頻りに注意を促して曰ふ馬賊の一群西關に襲來すへし茲數日間最も警戒を要すと眞僞は未發の故を以て知り難きも時に是恰かも馬賊跋扈の報は到る處に喧傳し西關居留する邦人は殊に心安からす▲遼陽基督靑年會は其以來盛んに活動して今井主事の熱誠至らさるなし九月より學齡兒童を聚めて小學校を設け兒童敎育をなすと余は主事今井氏の熱誠に感せざるを得す▲料理屋同業者は婦人病院(實は檢黴院)を自働經營せんと運動に努めおれり運動にして果して成功せは遼陽在住三万の日淸人は悉く梅毒患者と爲らん(ろくせう)

商況

▲當地石炭界の模樣を聞くに撫順炭坑の出荷あるにも拘らず續々として日本炭の輸入ある有樣にて其の重もなるものは吉野坤炭にして一噸十五六圓位ひ目下日本炭の在荷約四五千噸なりと云ふ何が故に日本炭が撫順炭を壓するやと云ふに撫順炭は拂下元價十圓五十錢位に運賃二圓餘を要し賣價持込十四圓位なるも元來本州の塊炭に比すれば品質劣るが故に賣價の點より此の如き有樣にありと云ふ此の外秦王炭の輸入さるゝ事あるも目下出炭少なき爲め輸入少しと云ふ

▲豆及び豆糟も一時沈淪の樣子ありしが先日來多少景氣立ち第二千代田丸にて三万斗りの出荷あり尚多少の取引ある模樣なり

▲綿布綿糸は目下格別の取引はなきも當地の外商は先きを見込みて上海より續々入荷あり麥粉も亦た仝樣の景況にありと云ふ

●滊船彙報

▲滊船北平號は支那客二百三十人を積んで一昨日十二時半タンクーより仝芝罘は支那客八十三人を積んで仝日午後一時半入港せり

▲汽船ダグマー號は乘客九十人雜貨若干を積で昨日午前六時半長崎より入港せり

▲滊船中國丸は乘客十四人雜貨若干を積んで昨日午前七時太沽より入港せり

▲滊船萬成源丸は外客十名支那客六百名を積んで一昨日正午ランカオへ向け出帆せり

▲旗昌洋行の取扱に係る郵船定期營口丸は昨日午前十時芝罘へ向け出帆せり乘客十名外雜貨數點

▲昨日碇泊の滊船總數は十一艘なり

●一往一來

▲旅團副官鎌田彌彥氏一昨日任地大石橋へ又步兵五十六聯隊付將校園田成憲甲木狀五郎の二氏は任地へ何れも出立せり

▲大和館に滯在中の加藤山口の兩少尉は一昨日遼陽へ出立せり

▲工兵十四大隊附少尉木川貞輔氏は一昨日鐵嶺より來營東雲館に投せり

▲豫記の如く前營口正金銀行支店長中村錠太郎氏は昨日午前十時營口丸にて歸朝の途に就かれたり

日報俳壇 野梅選

課題集句選 其七

人來なば起してくれと午睡哉 古江生
前進ぢや前進ぢやと起す午睡哉 同
○晝寐起きひる睡愚也と申けり 同
○侍者もなき滄浪閣の午睡かな 同
○ひかれ行く捕虜一隊や雲の峰 同
○水牛の群壯觀なり雲のみね 同
○無利益の經誦す樣やせみの聲 千曲
○蟬なくや殼は藥舖の壺の内 同
○大佛の何處見て御坐る蟬の聲 同
○蟬なくや假寐はいつれ肱枕 同
、手に毛虫這ふともしらて午睡哉 同
發車には二時餘りある午睡哉 同

重要貨物の價

穀物相場(五日)

品名	單位	兩 錢
青豆	一石	七、〇四
黃豆	仝	七、〇一
黑豆	仝	六、〇九
豆粕	十個	二、三二

綿布相場

品名	單位	兩 錢
大鹿	一疋	四、〇八
番狗頭	仝	四、〇六
元馬牛	仝	四、〇四
[illegible]	仝	四、〇一三
異馬	一疋	四、〇五
老人馬	仝	四、〇〇
金奎鼻布	仝	六、〇〇
藍園龍票布	仝	五、〇五
益魚 綿糸相場 一細		九八、〇

綿花相場

品名	單位	兩 錢
九龍	一細	七、六〇
彩美人	仝	七、四〇
人担茶	仝	七、五〇
紅人竹	仝	七、四〇
四童人	仝	七、〇五

錢

向先	圓 錢
内地向	一〇二、
上海向	一〇二、〇五
天津向	一〇三、五〇
芝罘向	一〇三、五〇
内地向(正隆銀行)	一〇三、

軍票(百圓)(弗百)

淡谷
本號開設營口東靑堆子發賣 栢木元料紅松料木油松方料元木大小 標子廿四尺栢木大杆木板此木材出售 價廉採買客人不知請此廣告

會席 三日月 營口警務課

小説　市松格子（四）　ふみを

「一々申し上げまするも皆身内の耻ですから、けふ斷して出てまゐりました譯についてはどうぞ、お見免しを願ひます、一体私は東京で生れましたので、四つの年父には生別れ母には死に別れといふ淺間しい身の上になりまして、その揚句が父の獨手に育てられますとの出來ぬほど貧苦な儘、貰はれて、今の湯本の伯父の家へまゐりましたが、伯父夫婦は私を養娘だといふとを私に知らせず、私は全く伯父の娘たとばかり思つて過しましたのが、この頃ふとしたことからはじめてそれを知りました恰度その頃から、申すにも申されない事情が出來まして、それからと云ふもの其事情の爲に泣かされづめに泣かされました揚句、實は今日この吹降に出てまゐりましたのも、もうかへるまいといふ心で………」

隨分男勝りの勝氣らしい女の似氣ない伏目にかう云ひ續けて、思はずその苦しさにか、ひたと其場へ泣伏した。

「それで先刻貴娘は豊川へとか往かうと云はれたが、誰かお便なさる方でもあるんですか。」

「………。え、別、別に便と申しては、でございませんけれど、少し知り合つたお友達がございますので。………ですけれど、それも半年ほど文通さへいたしてをりませんものですから………。」

「さうすると、これから、そこへお往になつてもその人がゐるかいないも譯らないといふ都合なんですね。」

「はい………。」

「………。」

話は茲に切れて彼語らず、此云はず室は只闃寂と軒端に下す雨滴のまた一際百鼓を拉するがやう。

※　※　※　※　※

女、名はお嶋とて、取て二十の氣性者、心を洗つて聞かば血の出るやうな身の上とは云はずと知れた、この雨風にゆく衛も知らぬ旅の途、逢雄は同情の遣瀨なく兎も角もそれと知つては捨ておきかねて、人して豊川の知人といふのを尋ねさせたが三月ほど前、其地を去つ行衛も分らぬといふので一先、自分の家へ落着せる事として扱ため湯本との事情を聞けばいかにとも云ひ、溢つた涙の下、その伯父といふのが女房も現在連添へてゐる四十男の身で、あられもない、かりにも姪と名のつくお島へ無躰の戀慕、夜晝わかず女房の目を盗んでは云ひ寄るのを、様々に應遇つておいたがその風の夜、果は力づくにも犯さうとしたのを振捩つて其儘後前も搆はず飛出して來たものとの事に、結句尾島夫婦が親切の斷るよしもなく一應この家へ身を据ゑたるその上に、何とか身の立場をも謀らうといふことにしたのである。

雜報

●鐵嶺の虎列刺病（患者と領事館巡査）

暑中は特に衛生に注意すべきことは言ふ迄も無き所なるか場所も人もあらうに在鐵嶺帝國領事館にては去る十三日午前同館附巡査（姓名未詳）一名下痢に次ぐに吐瀉を以てし違ふ方無きコレラ病なるにぞ館中上を下への騷動なりしが兎に角夫れ〳〵處置を施し館内外に嚴重に消毒して隔離を行ひ領事館に取扱へす十七日迄事務取扱を休止し城内への交通も日本人一切の往來を遮斷したり發病の原因は牡蠣の鑵詰と西瓜とを飽食したるに在りといふ時節柄注意すべきは飲食物なれは特に氣を付くるを要す

●醉月樓主の不埒

人間の面を被つて居ながら人道を守らざるは是を人面獸心と云ふ再三筆誅せられても馬耳東風一向改心せざる醉月樓主吉永粂次郎の振る舞こそ實に惜みても尙餘りあり未だ讀者の耳底に殘り居るならん去る五月頃の事なりき彼れが臺灣にて善からぬ事をなせし折り同地にて野合夫婦となりし女を散々に苦勢せしめたる揚句の果て同地にても到底住居する事の出來ざる爲め當地に逃げ來りて矢張前轍を踏み浮世の波風に馴れぬ可憐なる婦女を言葉巧みに胡魔化して當地に連れ來り只管それ等の生血を絞りて糊口を濡し居る男なるが數多の婦女を抱へし其中に藝名一郎事名倉ツタ（一八）の少しく濫皮の剝け居るに思ひを焦し居りたるも前記臺灣より種々の苦勢を爲さしめたる濁妻のある事とて如何とも詮術なく是には一方ならず銹に心を惱まし居りたる末終に難癖もなき濁妻に飛んでもなき難題を持ち掛け終には僅ばかりの涙金を渡して日本に追返したれば彼粂次郎は最早心殘りもなき事とて終には未だ蕾の開かざる一郎事名倉ツタを無理往生に靡かしめたるも何分一郎は藝者の身として月に三回の檢黴を受けねばならぬ事を粂次郎は非常に憂い晝夜種々考案中フト一策を案じ豫て彼が南永世街の山田長氏の經營にかゝる日華製藥合資會社に多少の縁故あるを幸ひ同氏に委細を話し檢黴を免れん爲め表面該會社の下女に住み込ませし如く裝ひ寄留せしめ其實醉月樓にて起臥し帳場の見張りをなさしめて巧みに法網を潜り居れりと云ふ實に不都合千萬なる話と謂ふべし

●能くゐる踏倒し

原籍東京市本郷區春木町太田榮造（二八）と云ふは去る卅五年頃より滿洲内地又は天津北京方面を徘徊し身に一定の職業もなき所謂滿ゴロにて頭部に辮髪を貯へチャン服を着用し一見支那人の如く裝ひ如何はしき無頼漢なるが去る十一日何處より來りしにや元神廟街旅人宿東京樓に止宿し爲す事もなく晝間は寢轉び夕方となりて外出すると云ふ有様にて恰も蝙蝠の如き態度をなし爲に同宿屋にても不審に思ひ居りたる矢先一昨日午后六時頃より例に依つて小用に出づる如く裝ひ外出せし儘其夜はとう〳〵歸宿せず尙翌日となりても歸らざるにぞ愈々不審を抱き取敢ず同人の所持品を取調べたるに何に一品も無くつまり十一日より一昨日までの勘定十圓六十錢を踏倒されたりと云ふ能くゐる事なれば各旅館に充分注意すべき事なり

●遼陽の本社投書函

在遼陽愛讀者の投書を歡迎せん爲め今回投書函を城内城外の二個所に設置したるを以て讀者の抱負希望所感等は勿論市井の零聞雜話何にても差間無ければ續々投寄せられたし投書函の位置左の如し

城内　有馬組の側
城外　福島洋行の表

家庭

夏のくさ〴〵

◎簡易美顏法　或る醫師の話にニキビを去る極く手輕な療治法と云ふのは、硼砂と云ふ藥がある、之を藥店から一匁買つて、五十倍の水で溶く水は蒸溜水のが可い、さもなくは一旦煮沸した水を用ゐる、朝晩顏を洗ふ前に一滴つゝ手の掌につけて、之をよく〳〵顏へ摺込むのが可いのだ、ソウすると次第〳〵に消えて終ふ、至つて雜作もないことだ、是の法はニキビにも雀斑にも非常に効能があつて、そして白粉はよく載る、人によつては常にグリスリンを使ふが、之も成る丈け止めるが宜しい。

◎果物の効要　果實か顏の色に大きな關係を有て居ることを知る人は少いやうだ、御婦人方の爲に一つ二つ御紹介をしよう、先づ苹果は肌膚を良くし　苺は血液を增し、橙レモンも色光艶を好くする、殊に朝飯前に之を少しつゝ喰する時は肌膚を滑かにする効かある、便秘で惱んで居は人る、食後に新鮮な果實を食ふが宜しい、苹果や苺は緩和の効か多くある

◎夏の食事　ある醫士の話によれは夏季は三度の食事も控ひ目にして晝飯は午後二時頃に喫べ夕飯は極くあつさりとして成るべくは食麪麭と菓物位にて濟ませ置き間食は堅く戒しむべしと又た菓實は熟せぬものや腐敗したものとさへなければ何にても差支えなし尤もこれとて間ひ食ひせずして御飯の後にもちゆるかよし

●三日目の相撲

一昨日は雨天の爲め休止昨日は前日に打つて變りての晴天なれは入場者も多く中々の好景氣なりしが其重なる勝負は左の如し

勝	負	勝	負
緑り松	水雷	松ケ枝	照日山
甲州山	友碇	白藤	玉の森
鳳凰	八幡山	大江山	鷲ケ濱
碇の	紀國山	番外御好	
鶴の森	小松山	鶴森	照日山
鶴ケ嶽	鳴戸岩	八幡山	明山
手柄山	猪王山		

本日の取組

東	西	東	西
紀國山	八幡山	●小松山	鷲ケ濱
友碇	鶴の森	●猪王山	●松ケ枝
照日山	甲州山	●玉の森	●手柄山
鳳凰	白藤	●大江山	鶴ケ嶽
鳴戸岩	碇の		

尙本日即ち第四日目よりは暑中にもあり且つ觀覽者の便を圖り午後五時開場十時打止と爲したりといふ

▲常盤湯の前のすだれをのぞけば日本の別嬪さんが多く見ますね（二一生）▲一力横手にポーフル製造所の前に馬小屋ソツクリの下宿屋有り壁に吊せる看板には中根屋と記しあれども眞赤な僞にて下宿屋ならぬ賭博專門屋で其近所に住する大工土方等が夜な夜な眠りもやらで時ならぬ花合戰の勝敗を爲すと云ふ事其筋の慧眼抜目なしと雖又大に然らずだ（雲上）▲夜三更ともおぼしき頃餘りの寢苦しさに外頭へ出づれば四壁寂として聲無く遠く聞ゆる狗の吠聲！　何處を吹き流すにや重つくるしき夜風を縫ふて微かに音する按摩の笛！　高き空には白く長き天の川を遮ぎつて流星の一ツ二ツ！　僕は此間實に身神の恍々たるを禁じ得なつた（春濃生）▲遼陽藝者氣質も單旗祭で分明たつまらないあんな不平いつたり怒りりなんかしてはいかないね（見た生）▲大連には大連講武館が出來たが營口にも是非此種の會なり館なりを創立しいものだ（春濃生）▲不可解一、牛家屯の停車場に入るに歩哨の兵士嚴然として一小風呂敷包と雖隊の證明なくんば持ち入るを許さす之れ何の必要ありてか解する能はず（日生）▲此度基督敎青年會が立つ同時に佛敎青年會を設立して何れか有望の青年を形造るか大に競爭するべし吁有志來り共に修養せよ（泉源）

▲ホテルのお梅さん此間石先さんとやらへ〇〇して後でねぎられたとはほんとですか（鐵嶺同情生）▲西營口の清人の劇場へ觀に出掛けたらハイカラの同胞先生二三打連れ樓上に意氣揚々と見物して居たが集金取りが來るとコソ〳〵歸ろうとするので色々清人がなだめて要求したけれどかへりて罵りながら拂はすに歸つたのを見た由來邦人の公德心の缺如するは夙に識者の嘆する處なれども、かゝる面汚しは速かに退去命ずへし（午狗郎生）▲愛句生君及記者の君へ申上候是非一週一度の俳句會を設けられたし（醉雨子）▲只今計畫中です（むらさき）▲愚詠一首「角力取小雷艇に打こまれタヲタで鼻をアクボノ」（看艦者）▲日本人會に申上ます中村正金が一個月日本人會長に就職したので送別とか紀念品を贈るとか大騷ぎをするが掃除苦力にも何かやりたい如何（血男子）▲人に德義の制裁かなかつたら狂馬の轡を脱せし如きものならん（春濃）

俗歌壇

喇叭節　むらさき

美人の四季（春）
菫さく野に少女子が、赤きリボンのひらめきて、蝶追ひ廻し日もすがら、戯ふ姿の愛らしさ。

櫻井驛　仝
青葉繁れる櫻井に、楠父子の跡とへば、おちてちもるゝ鳥の聲　昔語るにさも似たり。

○　天籟生
去年の秋の病に、一そう死んで居たならば、かゝる苦勢はせまいもの、どうした此身の因果やら　評日お臍そつくり（紫）

不如歸　むらさき
青山墓地に月落ちて、いとしき妻の影恐び、暗き墓畔にたゝづめる、武雄の心いかならむ

廣告

歐米各國最新流行形
西海洋服店（電話二百十七號）
永世街一四一（森病院三軒目）

靴製造并に修理
右安價を以て雅賓迅速に調製仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局向ひ
桑田靴店

牛莊基督教青年會發會式
八月十八日（土）午後八時（營口時間）アッセンブリールームに於て擧行
日本基督教青年會同盟部長神學博士井深梶之助君出席
一般有志來會を望む
創立委員

營口日本基督教會設立并石原牧師就任式
八月十九日（日）午前九時（營口時間）カルソン氏邸内會堂に於て
教會委員

基督教婦人會演說會
八月十九日午後二時前記會堂に於て特に婦人の爲
井深博士　石原牧師　出演

當支配人中村錠太郎本店へ轉任井上一男支配人に就任仕候間此段廣告仕候也
明治三十九年八月十五日
横濱正金銀行牛莊支店

拜啓今般歸朝仕候に就ては一々拜趨御暇乞可仕筈の處匆忙の際其意を得ず缺禮仕候段不惡御海容被下度右乍略儀新紙を以て御挨拶申上候敬具
明治三十九年八月十六日
中村錠太郎

旅館料理
今度室内に大修築を加へ名妓數名を雇入併せて球戲場を增設仕候間諸方御客樣倍舊の御來遊を祈上候
奉天大西關
扶桑館

社告

一週年大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等　金時計（大賞堂保險附）　一個
二等　貴婦人用帶地（白木屋呉服店）　一筋
三等　純金指環（大西白牡丹製）　一個
四等　上等洋傘　一本
五等　縮緬兵兒帶　一筋
六等　縞毛布　壹枚
七等　フランチル單衣地　壹枚
八等　勸業貯蓄債券　壹個
九等　卷煙草入　壹枚
十等　言海　壹部
（十一等以下は漸次發表します）

等であります、月極讀者は勿論今後滿一ケ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追々と我紙上に掲げます

有志家寄贈副景品

▲白米　一俵　第三樓
▲八丁味噌（大樽）一丁　金城館
▲手拭　十反　日本館
▲エジプト紙卷煙五箱　第一樓
▲濱縮緬上等兵兒帶一筋　奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個　醉花園
▲玉突券五十枚　第二軒
▲平野水四ダース二箱　東邦亭
▲エジプト紙卷煙二箱　三日月樓
▲澤庵積一樽　公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース　東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース　大和館
▲敷島紙卷煙二十入三箱　萬直し
▲上等西洋料理券三枚　牛莊ホテル
▲リンチル上等洋服一着　富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚　祇園閣
▲置ランプ三個　友洋行
▲呉服券三枚「五圓」「三圓」「二圓」　玉井洋行

滿洲日報社

廣告

スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等麥酒スペシャルライト

本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元　大日本麥酒株式會社

營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

滿洲一手販賣店

分店　奉天四平街電話十三號　關東洋行

●盛進商行●

東京萬長別製

男物　女物　風流下駄

各種新着仕候間不拘多少御用仰付被下度奉願上候

りん病　せうかち　ボーコーカタル　即ち花柳病の特効新藥

（醫藥學細菌學應用　萬國陸海軍局方參照）

登録商標　THE RINBYOGAN　一回一九服用

博士　御與藥　複方　麻病丸

藥價　三日分三十錢　七日分五十錢　十七日分壹圓　小包料十錢

取次全國各地及清韓各有名藥店

本家　大阪江戸堀下通三丁目（電話西千五十九番）

【安々堂藥局】

複方　痳病丸（白濁羹）

此○耑治白濁五淋赤白帶下及痳病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也宜用嘎洛不洛散洗淨患處則奏愈速

批發所　營口永世街警務課東隣　回天堂大藥房　電話百九十號

法學士　辯護士　値賀連

大連大山通二丁目三十一番地

目下當地左の出張所に居住す

營口永世街第三號ノ二（金城館ノ南隣）

◉煉瓦販賣

上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニヲ御需メクダサイ

二本町　高坂洋行煉瓦製造部（電話九十番）

營口　雜貨洋酒煙草卸シ小賣　大連南洋湖北彩票販賣

西北街　裕和盛

鑵詰紙化粧品特ニ安賣　東清鐵道遼河貨物運送

電

御料理旅館　三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二階屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主　川上總吉

會席御料理

座敷は高尚閑雅御料理は原料を精撰致し風味佳良に調進可仕最も美形の粋を極めし御取持は申も愚か殊に御手輕は弊亭の特色に御座候間御安神被遊續々御光來の程偏に願上候

豊濟門街　柳亭

二白　琴藝妓をも内地より呼寄せ申候間御愛顧願上候

開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入

和洋御料理　遠山館

今回皆樣方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強美形と待遇とは決して〳〵遲れぬ樣にと精々注意可致殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコックも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上敬白

旅館　御料理

遼陽陳家街破門東入北側

東來館

大勉強は本館の特色

近江病院（永世街二本町）

院長　近江周友

副院長　増田八郎

内外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門

午前宅診　午後往診

入院治療を諾す

但輕便入院法あり來談を乞ふ

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼陽城外喇嘛塔下　遼塔ホテル

全　城内東街　遼東館

全　城内西街　滿洲ホテル

全　城外喇嘛塔側　浩氣館

全　城外西門外通　藝陽亭

全　上　遼陽館

全　城内東街　東洋館

全　城内北街　滿洲館

全　城外西門外通　梅廼家

廣告

今般同業者一同協議の上自今左記麥酒は總て現金取引に相定め候間左樣御承知願上候也

（イロハ順）

朝日ビール　糸平公司

スペシャルライト　關東公司

札幌ビール　加藤洋行

朝日ビール　裕和盛

朝日ビール　松茂洋行

惠比須ビール　盛進商行

新着荷

裝飾用簾　洋食用品　肉碎器　秤卅六貫以下種々　手提金庫　コッピー用附屬品

窓掛及附屬品　夏帽子各種　戸田式濾水器　宇治新茶　ワイシャツ及カラー　學校用文房具各種　各種複寫簿

關東公司雜貨部（電話五號）

御旅館

旭ホテル

家屋の宏壯と待遇の懇切と料理の精良とは當ホテルの長處

二百人迄の御宴會に差閊なし

場所は牛家屯行輕便鐵道の央

青堆子新市街（電話二三五）

料理　滿月

平野町（電一六二）

滿月支店　平野町入口　店主　青木惠

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜ラムネ、檸柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類

特にラムネ及檸柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す

遼陽西門外街　林洋行

牛莊松岡病院

内科　外科　眼科婦人科診療

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す

元神廟街第百三十四號

全科醫士　松岡玄雄（電話一五一番）

新荷着

札幌ビール

加藤洋行

加藤洋行

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し執く專門の功果を收む

○全身魔醉。○局處魔醉。○嶄新器械。○無痛手術。

○梅毒婦人科專門　○外科胃腸病

日本醫院

太米　二、二、〇八
馬狗　艶馬　眞龍相連　全全全　四、〇〇一　四、〇〇五　四、〇七三
鐵毛　紅劉海　老船　全全全　九一、〇〇〇　七九、〇〇五　七八、〇〇五
西京全　一八、〇五
爲換相場（正金銀行）
天津向　一〇三圓六二五（銀百弗）
五日の一兩は票一圓四十錢五厘
軍票一圓……金一圓一錢五厘

宮門抄

二十二日　理藩院　光祿寺　八旗兩翼値日無引見

張百熙假滿請安　戴鴻慈端方到京請安　內閣呈進賀表　吏部奏派驗看月官之大臣

派出奎俊　陳璧　李綏藻　松壽　葛寶華　溥清銳　伊克坦　廣颺　陳恒慶　英奎　祭金台　儼忠　恩昌　張世培　左紹佐

又奏請簡內閣學士太常寺卿

召見軍機　戴鴻慈　端方

戴鴻慈等遞封奏一件

上諭恭錄

二十二日奉

旨承祐着補授內閣學士兼禮部侍郎銜欽此

旨太常寺卿着劉若曾補授欽此

祝詞

大清國　大皇帝萬壽聖節祝詞

中歷光緒三十二年六月二十六日即西歷八月十五號爲我

大清國　大皇帝萬壽聖節之辰凡在臣民無不頌獻華封心殷嵩祝此正薄海臚歡中外稱慶之日也昨經海城邑侯管洛生明府舉行學界祝嘏會頗極一時之盛現本埠厘金局總辦忠藎卿太守幫辦霈典生司馬二君議擇於二十八日在西營天后宮商會之所優觴慶祝俾聯中外之歡群上臺萊之頌鴻儀鉅典懿乎鑠哉何其盛歟執筆人聞之亦思獻一言之稱祝效萬歲之山呼夫二十世紀之世界一競爭劇烈之世界也兵戰不已易而商戰商戰未戢加以學戰列强勢力駸駸乎日趨於東有瞬息千里須臾萬變之觀亞洲大陸幾爲歐風墨雨之所漂搖岌岌有不可終日之勢或則謂可以瓜分或則每譏其老大視我百餘萬方里四百兆人民之大帝國爲睡獅爲病漢群思染指於鼎嘗一臠之甘而始快稍具國家思想者處此衆視眈眈群群逐逐之內宜如何激發其愛國之心聯絡其合群之氣日求進步於文明以與世界無一之最强國相馳騁相追隨於逐鹿之場不致彼絕塵而我自畫也乃我國

大皇帝已先臣民而燭照及此故早下維新之詔期於全國富强將迹友邦使我國旗得焜燿發展於世界之上無久貽笑於外人焉且於去歲即諭派大臣出洋考察政治以固立憲基礎刻已聯鑣歸國庶幾擷其菁華棄其糟粕一新我舉國之面目耶玆者各大臣回朝未久即逢

皇上萬壽之辰其必將有以壽斯世而壽斯民也執筆人且翹首企足而樂觀其成遂不禁欣然喜怡然悅拜手稽首而獻祝詞曰願我

皇帝陛下萬壽無疆我

大清國萬壽無疆我維新之政亦及同胞之四萬萬之國民亦均受萬壽無疆之遐福矣

奏議

吉林將軍達等奏裁併現有局所摺

奏爲擬將吉省現有局所裁改歸併以節虛縻而求實效恭摺仰祈

聖鑒事竊維政貴因時法期通變方今時艱日亟

朝廷銳意維新吉林爲根本重地凡一切政令之設施奴才等何敢故步自封而不知所裁制雖學堂巡警陸軍諸務現已次第舉興而於吏治財政兩大端尤應認眞體察酌量因革以期事歸實際款不虛縻查吉林設有課吏局於本省候補之正佐及投効各員內擇其文筆清順事理通達者委令詳核公牘檢核例案倘能悉心研究亦未始不可以造就人材然所司批判詳檢月行公事已不勝其稽察而於目前時勢實在應用之學殊屬難以兼顧各員從事其間無以擴其才智自宜將課吏局裁撤改設法政館一處仍考取在省候補同通州縣佐雜年歲合格文理稍優者爲內班考取外來投効及本籍滿漢紳衿留心政治有志向上者爲外班現在需次人員無多且有分派外差之人暫不定額一切管理檢察規則均仿照直隸法政學堂章程辦理而入館各員首重行檢蓋必品端而後學粹惟應教科學直隸原定十一門節目紛繁教習一時難得其選擬量爲損益應定爲中外歷史古今輿地中外法律通商約章理財教育六門而益以新頒之民事訴訟法分門講授以六個月爲一學期三年畢業務使學適於用以儲眞材而收實效此裁撤課吏局改設法政館之情形也又吉林舊有行營發審局爲審訊各營隊護送盜匪而設而各營拿獲之賭博偷竊拐帶及旗民上控戶婚田土錢債各雜案亦往往發交承審局中委員亦以本省候補府牧廳令選充現在

朝廷特派大臣修訂法律不特爲創修內政要點亦可漸收治外法權意美法良奉行何敢不力惟吉省偏隅僻處風氣未開徒知墨守若再因仍舊貫將使在事各員拘守成例不能將所修刑法員力研究轉無以啓闢新機自官將發審局裁撤改爲裁判所仍令本省候補道府及以下各官充當總辦會辦緣審幇等職特裁判之法精密深奧非平日講求有素不能融會貫通吉省現無通曉西律之人亦不敢稍涉遷就擬令聽訟之際先不分民事刑事公訴私訴就奉准法律大臣所修改新律及郵刑罰各條認眞考究以爲基礎一俟京中法律學堂畢業有人再行請調來吉逐漸改良用昭愼重此裁撤發審局改設裁判所之情形也又吉林舊有釐捐局迨光緒二十七年因餉項支絀抽收九釐等捐復設籌餉局而於各外城均設有釐捐籌餉分局查釐捐局係經收七釐捐七釐爲抵充俸餉四釐則津貼鑄錢歷辦多年尙無弊病籌餉局之九釐等捐乃抵充捕盜隊薪餉辦理亦有成效雖七四釐按合舖商進本之價以收捐九釐則抽自賣出價値捐章因各有不同而抽諸舖商則一何必顯分兩局致有疊牀架屋之嫌且多立局卡不獨員司賢愚不等倘稽察稍有未周即難免不滋流弊抑慮用人太多費用過鉅因此財政困竭苟可撙節一分公家即獲一分之益自應將兩局歸併爲一統名曰餉捐局所有自總理以及各委員司書等差擇其綜覈精密辦事公正清白乃心者遴選承充其各外城分局亦即一律裁併庶稽察易周俾得風淸弊絕涓滴歸公而餉需亦藉資周轉此裁併釐捐籌餉改爲餉捐局之情形也伏念培養吏才講求財政實目前切要之圖況吉省値兵燹之餘民凋物敝百廢待興需材之殷用財之巨急等燃眉若不於此二者如意整頓竊恐將無以善其後現將四局裁改歸併庶得實事求是漸收整齊劃一之規仍由奴才等隨時體察如有應行改革之處再容妥爲籌變奏明辦理總期材堪效用款不虛糜以仰副

聖主孜孜求治力圖自强之至意其應需薪餉除厘捐籌餉原有經費無須另籌至法政裁判兩局所經費仍請照章作正開銷合併陳明除咨會政務處戶部刑部查照外理合恭摺具陳伏乞

皇太后

皇上聖鑒訓示謹奏奉

硃批該衙門知道欽此

中外要聞

●林公使覲見定期　日本駐京欽使林權助君月前來京履任然因兩宮駐頤和園仍未入覲捧呈國書茲聞兩宮定於六月杪回宮於七月初一日在勤政殿覲見林欽使現由外部照會日本使署矣

●袁督對立憲意見　樞府立憲消息近以有袁宮保電致政務處條陳擬仿前戴尙處書條陳遇有改革要政凡五六品京官上者均有參議權所有內閣軍機處政務六部院卿署量爲變通以組織之預立上議院之基礎並飭各省督撫札飭地方州縣官令邑紳村董參議州縣事權村鎭受轄於邑邑轄於州州轄於府以立下議院之基礎

●稅務處奏辦四科　聞稅務大臣鐵尙書唐侍郎日前遞封奏條陳稅務處開辦事宜聞稅務大臣擬於稅務處內開設四科一曰洋稅科專管洋關稅務二曰常稅科專管常關稅務三曰洋葯科專辦洋葯稅務四曰雜稅科管理零碎稅務以資整頓稅務

●出洋考察路務　道台銜徐鼎民呈請商部赴法比英德俄日本研究鐵路事宜以資回國辦理路務經商部允准並咨外部轉咨各該國出使大臣屆時照料聞徐君已啓程出京矣

●灤州會匪被捕　聞灤州屬近有會匪聚衆滋事經袁宮保派兵往剿捕獲匪二十餘名已押解赴津並聞該州匪尙未靖已從嚴緝捕務盡根株而靖地方云

●札派商務議員　奉天商埠將開各紳商極力組織商會以期振興滿洲商務而競爭利權並舉彭觀察穀孫陶觀察大均爲商務議員已咨商部由商部核准札派矣

●開議廣九鐵路　廣九鐵路合同尙未議定刻經外部與英公使在京提議此事現在尙無成緒

●鐵路物料免稅　岑督電咨商部云粵漢鐵路所需之材料機器擬照官用物件例經過關卡一律免稅並請通咨各省查照而商部尙未答覆

●奉天之人材　自奉天來人云現在奉天將軍趙次帥整頓內外政治所恃爲得力臂助者有五人一史念祖都護一陶觀察大均三張觀察錫鑾四梁觀察如浩五錢觀察鑅所有內政者倚史錢外交者倚陶梁惟張錫鑾則內政外交兼任云

●咨飭速結命盜各案　聞刑部堂憲會商現以改輕刑律亟宜認眞整頓近因各省命盜等案並不按限審解各廳州縣祇爲變通章程竟有壓擱年餘並未解省其中無辜之牽累証佐之株連不知凡幾罪在不赦者亦可倖逃法外情有可原者不免瘦斃獄中應咨各省督撫通飭府廳州縣務將歷任命盜等案造具案由淸冊已獲者按詳擬解未獲者勒限嚴緝無辜者悉予開釋若再玩於積習任意逾違即著紮處勿稍徇隱

●曹州匪耗　山東曹州匪徒猖獗與官軍接戰敗衂殘匪三百餘名相率竄入壽光縣

●日美漁案交涉和平　官場接到美國電云日本漁夫於亞拉斯喀禁獵地域前往捕漁被美國人殺害五名緝捕十五名據富軸云查該事件想當和平辦結必不至惹起兩國轇轕也

●日宣布南滿鐵路事宜　日本政府關於南滿洲鐵路事宜出示曉諭據其內容云

股本總計二千兆圓現由政府撥足一半其他一半召集股票每股二百圓中國政府及華人欲入股者一併允認並由日政府對於各股東所應募之股票給息六釐

又云南滿州鐵路委員已於日前在東京本部開會聚議

●美控煤油公司案　美國斯坦達煤油公司現由芝喀高鐵路公司將強取金錢所爲頗不合法竟被控訴

●法俄借票在英聲價　法俄兩國股票日前於英國股票市塲銷售甚急尤屬可異查其意在一時誇張其聲價也

●美鑄貨幣之補助品　美國戶部決計擬由八月十五日定購銀塊以便鑄造補助品之貨幣聞每禮拜由銅元局所鑄約一千恩斯並由戶部嚴加監督將所鑄銀元力圖分配適宜以期不紊亂市況

●德公爵之陞見　德國俾羅公爵定於八月十八日在皇城陛見德皇維廉

●俄新內閣大臣　俄國新內閣組織已成即將新簡內閣大員名單開左

商務大臣基羅索夫君（即前維第內閣之檢查院長）農務大臣宇羅西哥夫公爵（現爲大地主）教務院長伊斯窩爾斯基君（即現任外務大臣伊斯窩爾斯基君之弟）

聞此三大臣均懷抱改革主義其他各大臣一律留任

●俄罷業蠭起　俄國工匠罷業各所蠭起

●日俄勘庫頁界情況　日俄兩國庫頁劃界委員前于陽六月廿一日業經第三次會商妥善日委員於二十五日俄委員於七月初一日前後均由亞歷山杜魯扶斯克啓程至幌內河畔地名科爾的哥夫所以便觀測星辰據云庫頁距日本本各定其本部稍南一里之地爲第一測點土甚遠以後未知如何情況諒于七月抄觀測事已畢聞該地方一帶森林一望無際密樹蓊鬱白日尙闇往往多腐朽自僵之本斧斤不入且不知幾何年該委員等在是地從事勘查闢幽徑架危橋到處與熊及羚羊等屬邂逅相遇彼初不知人間之可懼夷然無躲避之情令人不覺慓然抱畏然亦不甚害人云大抵森林多係落葉松一種又多檜樹野火一吹數日漫焰防遏無術徒從爵焚所在電桿同歸烏有該委員等勞苦之狀蓋在尋常想像之外也

●勘查俄土界務　俄土勘查境界一節由勘界委員向土京君斯坦丁稟告從速辦結界務以鞏國防

●俄國罷業現況　俄國工匠罷業風潮尙隨落隨起云

●搶掠叛徒案由　俄國塞巴斯杜堡叛徒罪案猝被匪徒闖入軍法會議所將該案稿搶去

●法土之轇轕　法土兩國關於亞爾西塞拉斯事宜致生轇轕一節想當從速定奪也

●法將私鬥　法將涅克里亞與同僚歐德爾持劍相鬪然兩人均未受傷

●皇孫受洗展期　德國皇孫洗禮大典展期八月二十九日舉行

●公爵之副衆望　俄國簡派尼古拉維基大公爵充爲軍務總理一事頗副衆望

●俄廷之簡大臣　傳說俄國派羅窩夫親王充爲內閣總理派海甸伯爵充爲外部尙書派斯達周維基充爲戶部尙書

●傳言不實　傳說俄皇禪讓查無實據又波爾報抄錄官書雖載有俄皇向漢堡克遊歷一節均無其事

雜報

●奮捉羣賊　昨聞錦郡來人云淸河門西北淸水門毘連三座塔等處因山陵合沓嶺谷廻環多有賊羣負嵎據險每有兵去剿襲賊等或進或退或起或伏常操制勝之權而兵等不諳地利屢被挫折而回旬前有駐錦屬常備軍隊百餘圖進山裏搜剿谷一望深茂林陰翳天日僻歧路不見行人正在駐隊徘徊之間驟聞林內嗚槍彈疾飛來射斃兵一名彼創二名詎該軍隊俱係英勇少年直似初經出洞之虎新試爪牙騰擊搏噬雄猛無比料知賊聚林中而即行奮不顧身爭先猛進賊衆一見胆裂半皆遁逃時有十數賊首意欲據險拒抗俱被該隊活擒而回云云

●盜賊牽連　昨午前西營五福棧門傍有一賣面食小舖王姓者不知因何被署中巡捕二人捉拿王姓到案詢其情由聞係被盜牽連第未悉是何要案云

營口旅館料理店案内

いろは順

旅館料理 元神廟街九十六號 第一樓（營口ホテル）

料理 永世街百八十三號 入船亭 谷初次郎

料理 營口永世街 一力 店主 堀万助

旅館 河岸通り 日營ホテル 店主 井上源吉

料理 永世街八十六 東京館 店主 村上京四郎

旅館 營口新市場前（電話一七六番、四四番） 東京樓 店主 熊田彙次郎

旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程 東茂旅館

料理 元神廟街百三十三號 千鳥 店主 吉住善藏

料理 永世街百六十四號 沖の嶋 店主 中川彌三郎

料理並に氷いろく 營口元神廟街 翁亭 店主 長谷川金次郎

料理 永世街八十六號 吉野亭 店主 坪田正好

旅館、西北街（電話一四五番） 高砂ホテル 店主 引山小みつ

料理 營口元神廟街 樂々亭 店主 武部貞

旅館 永世街三十四號（電話十一番） 大和館 店主 前田九一郎

料理 豊濟門外第百〇四番 萬梅 店主 島田彌助

料理 永世街字二本町 まんなをし 店主 和田常松

和洋料理 南永世街 公、樂園

料理 營口平野町 喜樂亭

料理 平野町 都樓 店主 阪本ちか

旅館 永世街七號 東雲旅館 店主 谷口今朝太郎

旅館 營口永世街一六號 品川館

和洋料理 營口元神廟街一一三四 松月亭 店和 末松信太郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 奉天小西關大街北側 瑞豐館 館主 河野喜吉（電話□）

會席御料理 高等御旅館 奉天小西關大街北側 奉天小西關大什字南街へ入 温泉村大勉强キレーデチイシヒ 天神樓（電話□）

旅館料理店 奉天小西關大街路北 日章館（電話□）

旅館 奉天兵站部指定 奉天小西門外大街路北 茂林館（電話二十五番）

御旅館 奉天小西門外大街路北 瀋陽館

御定宿 奉天小西關第五分局八一〇 第一東京館 館主 松田平四郎

今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を業に專ら御客樣の御便利を計り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 梅松館 館主 押尾富次郎（電話號）

今回弊館座敷増築の上清潔廉價を旨とし川魚（鰡丼鯰蒲燒）等をも新調且つ仕出筆致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願候

和洋高等御料理 遼陽城内東街一八九號 遼東館 電話 號

諸鐵工製作 鑛山船舶機械鐵工 輕便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般 營口ブリッジ 綏定商會門東街 喜川鐵工所

和洋會席 御料理 一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候 營口永世街二本町 日本館（電話百三十） 各位樣

料理店旅館擴張廣告

奉天小西關新來當街々 御料理 本店 金城館（電話十九）

奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）

四方各位益々御清榮欣賀爲入奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府に當る奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に増し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來當街に設け以て專門の料理店となし日本式大宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間倍々一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は東方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來觀之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三） 御旅館 支店 金城ホテル

大連市吉野町 御料理 支店 金城館

大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

遼陽城内西街 御料理 盛進館 雜貨 井川商會 店主 北ツネ

和洋御旅館 御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館（電話十四番） 奉天城内鍾樓南大街

日清倶樂部（電話十五番） 奉天城内大南門裡大街 西洋洗濯 日本大工 麵麭製造 靴製造 理髮 裁縫 氷御小賣所

一杉丸太長一丈より五間迄
一杉末口一寸以上八寸迄各種
一大小押角挽角小割各種
一右廉價販賣

營口永世街 喜久洋行（電話一五二）

○板材木 ○蚊張 ○金物類 ○金庫 ○疊建具 ○花莚 ○椅子テーブル ○ペンキ ○洋燈類 ○文具 ○鰹節雜魚 ○紙類 ○酢醬油 ○罐詰 ○其他雜貨色々 新荷着大安賣

營口西北街 石光洋行 遼陽西門外 石光洋行支店

有 土木建築請負 遼陽城内西街 煉瓦製造販賣有馬組遼陽出張所 雜貨卸小賣 主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半 温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁 眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ 當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ 効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、瘋病等ニ特効アリ

西洋料理

弊ホテル義は歐洲風の旅館にして玉臺ピヤノ及び應接室の設備有之御宴會集會多人數の御立食仕出しにも應じ尚御來客の朝食午晩に區別仕り候外一二品の御好みにも應じ篤實に調進仕候間陸續御來臨の程奉希上候 進物用に適す料理切手發賣仕り五枚以上御買求被下候は丶割引仕候

牛莊ホテル（遼河々岸）

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

土木建築用諸木料 板硝子類 マルソイド便利瓦 九州セメント オールドスコッチウヰスキー 廉價販賣 營口青堆子綏定門外 志岐組 商業部

惠比壽ビール YEBISU TRADE MARK 登錄商標 DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN 大日本麥酒株式會社製

金升洋行 盛進商行

土木建築並ニ測量設計請負 營口青堆子綏定門外 志岐組

軍隊用雜貨 日用品雜貨 食料品種々 舶來品類 其外新荷着舶來品精々大勉强販賣 遼陽西門外筋 北原洋行

醇良日本酒 金露 サツポロビール 大販賣 和洋雜貨 洋酒化粧品 奉天鐘樓南大路西 千賀洋行 酒類 食料品 奉天小西關大街路北 千賀洋行支店 孔雀印平野水

石材 石灰 大販賣 英治洋行（營口西北街）（電話三二）

ペンキ塗請負 京阪組 營口豐濟門街三十一號 臨時出張所 鐵嶺正金工場内 新民屯泰東公司内

東淸鐵道 大連昌圖間 下り 大連發 瓦房店 得利寺 萬家嶺 熊岳城 蓋平 大石橋 海城 鞍山站 遼陽 煙臺 蘇家屯 奉天 虎石臺 鐵嶺 開原 昌圖 營口支線